

安全安心システム実現への挑戦 ～安全・安心：地震からプラント、航空機まで～

日 時：2006年5月16日(火) 13:20～17:30 主 催：横幹技術協議会、横幹連合

会 場：学士会館 2階 210号室(東京都千代田区神田錦町3-28)

参加費：**横幹技術協議会会員企業の関係者、横幹連合会員学会の正会員、学生は無料。**

【上記以外】一般5,000円

参加申込：【事前登録】ホームページ(<http://www.trafst.jp/>)よりオンライン登録いただくか、
下記の参加申込書にご記入のうえ、fax または電子メールにてお申し込みください。
(氏名、所属、連絡先 Email、TEL、参加費の支払い方法等をご明記ください。)

【当日申込】当日直接、受付へお越しください。(ただし定員に達し次第、受付終了となります)

【企画趣旨】現状、我々を取り巻く社会には、社会生活・文化の向上や技術の進歩とは裏腹に、さまざまな不安要素がある。このところ話題となっている地震に対する十分な予知保全、そして安全・安心な旅行やトラブルのないプラントの操業運転の実現等を達成することは、安全・安心な社会生活を実現するうえで、いつでもどこでも誰もが望んでいることである。そこで今回は安全・安心をテーマに、地震の予知保全からプラントの安全性および航空機の安全性まで幅広く安全・安心なシステム観について展望する。

【プログラム】

(敬称略)

13:20-13:30	開会あいさつ	木村英紀 横幹連合 副会長
13:30-14:20	◆基調講演「安全・安心社会における安全工学の役割」	清水久二 (横浜国立大学名誉教授)
14:20-15:10	◆特別事例講演 「ゆれる前に地震を知る技術－IT自動防災システム」	杉原義得 (電子情報技術産業協会(JEITA) 特定プロジェクト推進室担当部長)
(15:10-15:20)	休憩	
15:20-16:05	◆企業事例1「プラントの安全計装」	赤井 創 (横河電機 IA 事業部 システム事業センター 安全システム部長)
16:05-16:50	◆企業事例2 「航空機コックピットディスプレイシステムの信頼性概観」	鳥居 誠 (横河電機 航機事業部 航空宇宙事業センター長)
16:50-17:20	◆総合討論「安全安心システム実現への産業界の果たす役割」	
17:20-17:30	閉会あいさつ	桑原 洋 横幹技術協議会 会長

第 11 回横幹技術フォーラム 参加申込書

1.お名前： _____ 2.ご所属： _____

3.電子メール： _____ 4.TEL： _____

5.参加費区分：※該当するものに○印をつけてください。

- (a) 横幹技術協議会会員企業の関係者 (b) 横幹連合会員学会の会員 (学会名： _____ 学会)
(c) 学生 (d) その他

6. 上記5で「(d) その他」に該当する方のみ、参加費についてご記入ください：

a) 請求書送付が必要な場合：【郵送先】〒 _____

b) 請求書送付が不要な場合：銀行振込予定 _____月 _____日頃 振込人名義 _____

【お申し込み先】横幹技術協議会 事務局 フォーラム係 tel & fax : 03-3814-4130 email : forum@trasti.jp
【お振込先口座】三菱東京UFJ銀行 本郷支店 普通口座 4524554 横幹技術協議会 (オウカンギジュツキョウガキ)
※銀行振込手数料はお振込主様にご負担ください。

安全安心システム実現への挑戦

～安全・安心：地震からプラント、航空機まで～

2006 年 5 月 16 日（火）13:20 ～ 17:30 学士会館 2階 210 号室）

【 講 演 要 旨 】

（敬称略）

基調講演 「安全・安心社会における安全工学の役割」

◆ 清 水 久 二（横浜国立大学 名誉教授）

化学プラントや発電プラント、あるいは航空システム等の各種危険性を有する産業において深刻な事故・災害が発生しているが、近年 EU を始めとする先進諸国では新たな安全の方策を法制化し、普及に努めている。これらの安全法規類の中で果たす安全工学の役割について解説する。

特別事例講演

「プラントの安全計装」

◆ 杉 原 義 得（電子情報技術産業協会（JEITA）特定プロジェクト推進室 担当部長）

気象庁の開発した緊急地震速報と情報家電を組合せて日本全国 400 家庭で実証試験中であり好評であるところの本システムの概要と試験結果の概要について報告する。

企業事例

「プラントの安全計装」

◆ 赤 井 創（横河電機 IA 事業部 システム事業センター 安全システム部長）

プラントの安全（人身、環境、設備の保護）を向上させる手段の一つとして、安全計装システムがある。これは、リスクベースの安全管理を提唱した国際規格を背景に、広く世界で普及してきており、日本でも導入が始まっている。ここでは、安全計装システムが普及した経緯と事例による最新技術動向を紹介する。

企業事例

「航空機コックピットディスプレイシステムの信頼性概観」

◆ 鳥 居 誠（横河電機 航機事業部 航空宇宙事業センター長）

航空機コックピットディスプレイのこの 30 年間の変遷を概説し、最近の統合型ディスプレイシステムにおける信頼性の考え方、ならびに航空機飛行制御システムにおける信頼性の考え方を概説する。

交通案内

■学士会館 2階 210号室
 東京都千代田区神田錦町 3-28
 電話：03 - 3292 - 5940

地下鉄	都営三田線、都営新宿線、東京メトロ半蔵門線	神保町駅 (A9出口)	徒歩 1分
地下鉄	東京メトロ東西線	竹橋駅	徒歩 5分
地下鉄	東京メトロ千代田線	新御茶ノ水駅	徒歩 10分
JR	総武・中央線	御茶ノ水・水道橋駅	徒歩 12分
タクシー	東京駅北口		約 10分



主催
 ●
 横幹技術協議会 / 横幹連合
<http://www.trasti.jp> / <http://www.trafst.jp>
 横幹技術フォーラム forum@trasti.jp